



令和6年3月
浜松市立赤佐幼稚園

職員の駐車場に梅の花が咲き、春を感じる今日この頃。早いもので令和5年度も残りわずかとなりました。最近、子供たちが自分のやりたいことを見つけ伸び伸びと遊ぶ姿に、成長を実感します。年度末の時期はどの学年もみんなで取り組む活動が多くあり、好きな遊びの時間がそれほど確保できる訳ではありません。それでも、限られた時間を充実させて楽しもうとする子供たちの姿から嬉しさがこみ上げてきます。と同時に、学年末を迎えることの寂しさも感じています。

残りの期間、子供たちが無事に過ごして今学期が終わることを願っています。

その子らしく、生き生きと。

2月14日の年長参加会。ここで、今年度の新しい試みである自慢大会を行いました。例年は竹馬参観会を行い、頑張った姿やできるようになったことを披露していましたが、今年度は竹馬に限らず、縄跳び、固定遊具、ひもゴマなど、自分が考えて選択したものを、保護者の皆様の前で披露しました。

何を選択するかは、個々それぞれ。できるようになったことを見せる子もいましたし、新しい課題に向かっていっているところを見せる子もいました。どちらも意欲に溢れる姿でした。また、同じ種目でも取り組み方が違いますから、個性（その子らしさ）が表れていました。本園の教育目標でもある「その子らしく、生き生きと取り組む赤佐っ子」が具現化できた活動となりました。

ひもゴマを選択したAくんは、予定していたことを急遽変えて、タイヤの上で回してみることに挑戦。上手く乗った瞬間、周りから大きな歓声と拍手が挙がりました。このことに限らず、どの取組においても応援する姿が子供たちに見られました。友達のことを思いやり、育ちを支えてくれる姿です。今の年長組はもう、「共に育ち合う」関係に育っていると実感しました。



見て見て写真館がもたらしたこと。

そんな年長組で、今取り入れていることを一つ紹介したいと思います。「すみれ みてみて しゃしんかん」です。

右のボードに掲示してある写真、誰が撮っているかというと、子供たちです。教師ではありません。普段、誰でも自由に使えるデジカメが置いてあり、その子が「いいな」「みんなに知らせたいな」と思ったときに使えるようにしてあります。

これまで撮影された対象は、人、もの、場面など様々あります。「裏の木に引っ掛かっていた鬼のパンツ」や「今までできなかったひもごまができるようになった瞬間」「友達が氷を発見し、手にもっていた姿」など・・・、かなりの量になりました。掲示はもちろんのこと、一日の振り返りでも活用しています。



写真は、伝えたいことが一目みて分かる便利なツールです。人に伝えたいことがあるとき、言葉だけでは難しいこともありますよね。語彙の数や言い方がまだ未熟な子供なら、なおさらです。撮影や振り返りのとき、伝え合いが盛んに行われ、子供同士の間多くの共感、受け止めが生まれていたように思いました。



また、子供がデジカメを手にし、写真を撮ろうとしている姿は、その子が心を動かし、何かを誰かに伝えたい瞬間でもあります。子供が様々なことに心を動かしていることが他者に見える形で表れますから、何を撮るにしても「いいなあ」とうれしく思います。



豚汁パーティ × こっこ食堂

20日(火)には、お母さんボランティアの皆さんの協力で豚汁パーティを行いました。タイトルでもお分かりのとおり、こっこ食堂を通して豚汁を振舞いました。その様子はブログをご覧くださいればお分かりいただけると思います。

「営業時間は11時30分～13時00分まで。その間なら、どのタイミングで誰と来てもいい。」このような情報を看板で告知し、運営しました。これまでこっこ食堂を何回も経験してきた子供たちでしたから、よく分かっていたようです。それはもう慣れたもので、営業開始時間に来る子、お部屋で友達と一遊びしてから来る子、友達と来る子、一人に来る子などなど……。子供たちが自分で考え、判断し、行動していることが見て取れました。好きな時間を自分で自由に使う力、見通しをもって行動する力が身に付いていて、子供たちの育ちを実感する場となりました。

食べる量を大盛、中盛、小盛と選ばせたのは、量の感覚を掴んでもらうと共に、自分が「どのくらいなら食べれるのか」を知る機会になればと思い、取り入れてみました。足りなければお替り可。3杯食べた子もいるようです。また、トッピングとしてネギを入れるかどうか選んでもらうようにしましたが、その後「(〇〇くんは)ネギ入れた?」と同じテーブルで食べる子同士で会話する姿も見られ、楽しく過ごす一つのきっかけになったようです。こっこ食堂の店員になってくださったクッキングサークルの皆さん、ありがとうございました。



幼稚園評議委員会

地域の自治会長さん、民生児童委員さん、PTA 役員の皆さんをお招きし、幼稚園の評議委員会を行いました。今年度の経営について成果や課題を報告すると共に、次年度に向けて貴重な御意見をいただきました。

市で進められている市立幼稚園・保育園の適正化検討会では、赤佐幼稚園が拠点園として残っていく方針が打ち出されています。今後、少しずつ具体的になっていくことと思いますが、子供たちが楽しめる園、保護者や地域の皆さんに信頼される園を目指し、職員一同頑張っていきたいと思っております。

